

月平均 80 時間を
超える教職員 0 人
を目指して

働き方改革 通信

For everyone's Smile

第 27 号
令和 5 年 11 月
山形県教育局

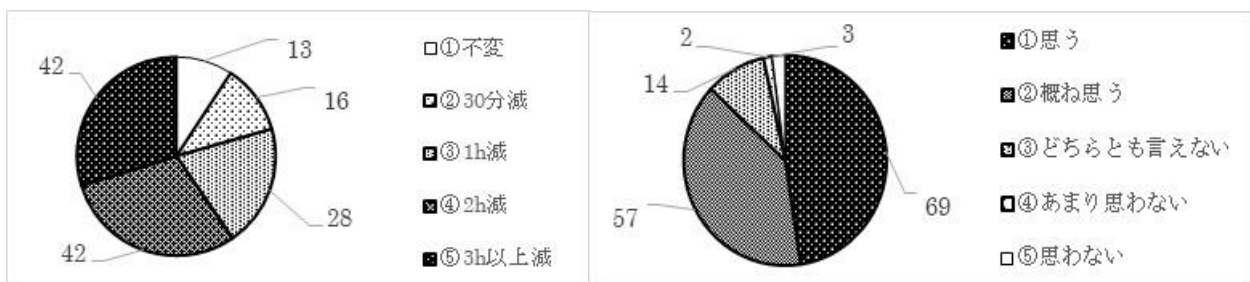
～ ICT を活用した働き方改革～

デジタル採点ソフト

採点や成績処理に係る教員の業務負担軽減を図るため、今年度、県立高等学校にデジタル採点ソフトを導入しました。利用した先生方から、上半期を終えての状況に関するアンケートにご協力いただきました。以下に、回答状況を紹介いたします。

デジタル採点導入による採点の短縮時間

デジタル採点ソフトによる業務削減効果



半数以上の先生が、1回の定期考査での採点時間が2h、3h以上減少したと実感していただいています。

導入から間もない時期でのアンケートであることから、今後、ソフトに慣れれば益々の業務時間の削減効果が得られるものと期待しています。

また、デジタル採点ソフトによる業務削減効果があるかの問いでは、「思う」「概ね思う」の回答が約87%という結果でした。

自由記述においても、「採点時間や集計時間が短縮できた」や「採点ミスが減少した」などの声を多数いただきました。また、「入力時の転記ミスが減った」や「観点別集計があっという間に終わった」といった回答もありました。

一方、「PCや周辺機器による制限を受ける」、「論述式や数学の証明などの問題では使えない」などの課題も挙げられました。

勤務時間内に採点作業が終了する。最初は操作やそれに伴う準備のことを考えると今まで通りのほうが楽かと思いましたが、採点スピードの速さが全く違う。今後も導入してほしいと強く思います。

校務用一人一台パソコンのスペック向上やタッチパネルの画面になれば、さらなる時間短縮になると思います。

デジタル採点を使用する前は、○付けがストレスであったが、使用后ストレスがなくなり他の仕事を考えるようになった。

教科ごとでやりやすい、やりにくいはあると思う。しかし比較的困難に見える国語科においても長文や単語の集合は手書き採点、残りはソフト採点にすることで採点時間が大幅に減少した。このようなハイブリッドシステムはみなさんにお勧めしたい。

3観点からの合計集計がすぐに完了しました。ミスなくデータ化できるのはありがたいです。

正答率の高かったものや低かったものなどのデータも見るのができるのでよい。小計・合計をする時間が削減され、計算ミスもなくなった。

(裏面に続きます)

デジタルによる報告の推進

県教育委員会では、県立学校を対象とした各種調査について、デジタル方式での報告を進めております。令和5年9月25日付け【教職第346号】にて通知しました以下の様式については、10月1日より、デジタル方式にて報告いただくようお願いいたします。

No	【関係課】(報告方法)・報告項目・URL	備考
①	【高校教育課】(Google フォームによる報告) 県外の宿泊を要する学校行事・芸術・文化活動等について https://forms.gle/Pmb8KfczzJSRkskF8	令和5年9月11日付け 【高教第641号】参照
②	【スポーツ保健課】(Google フォームによる報告) 登山活動について https://forms.gle/SqLLksHQDAUWB6ba7	令和5年9月6日付け 【スポ保第776号】参照
③	【スポーツ保健課】(Google フォームによる報告) 生徒の県外宿泊を要する体育・スポーツ活動並びに生徒の 国外の国際的競技大会への参加 https://forms.gle/ZBEUnN6C7StiDoZq5	令和5年9月6日付け 【スポ保第776号】参照
④	【生涯教育・学習振興課】(Google フォームによる報告) 県内高等学校全日制3年生のボランティア実態調査 ※今年度の調査は終了しました	令和5年6月30日付け 【生学第122号】参照
⑤	【教職員課】(県ホームページの指定フォームによる報告) 臨時休業の報告 https://www.pref.yamagata.jp/700026/rinjikyugyo.html	令和5年9月25日付け 【教職題346号】参照

教材費等の自動引き落とし

文部科学省『働き方改革事例集』より

学年・学級会計の対応

